

2011年2月15日
部会長：大澤 巖 (ダイワートブラジル)

=====化学品部会=====

A. 2010年の回顧（対前年比）と2011年の展望（対前年比）～総括

19会員より15分野に亘りアンケート回答を得ました。1会員より3分野につき回答を頂きましたので、計21回答が寄せられました。筆記具分野は2会員より、農薬原体分野は3会員より、商社分野からは、4会員より回答を得ました。化学品部会には、多岐に亘る分野の会員が加入されていますが、素材産業分野、消費物資産業分野、商社分野に大別致しました。素材産業分野には、架橋ポリオレフィン発泡体（スポンジを連想ください）、樹脂用着色材、接着剤、農薬原体、生松脂より精製されるロジン・テレピン油の5分野・7回答が含まれ、消費物資産業分野には、一般医薬品、家庭防疫薬、化粧品、飼料添加物、写真・デジタルカメラ、種子、接着剤、農薬製剤、筆記具、肥料の10分野・11回答が含まれます。接着剤分野は、両分野に含まれています。そして、商社・化学品分野（4回答）です。

2010年の売上につきましては、21回答中、増収18回答、不変2回答、減収1回答で、増収と不変を合わせますと95%、利益に関しては、増益17回答、不変1回答、減益3回答であり、増益と不変を合わせますと86%となります。2011年の展望でも売上に関しましては、増収予測が17回答、不変予測が3回答、減収予測が1回答で、増収と不変を合わせますと95%、利益に関しましては、増益予測が12回答、不変予測が5回答、減益予測が4回答で、増益と不変予測を合わせますと81%となります。

大別分野では、素材産業分野7回答で、2010年売上では、増収6回答、不変1回答、減収回答ゼロ、増収と不変回答合わせて100%、利益では、増益5回答、不変1回答、減益1回答、増益と不変回答合わせますと86%、2011年の展望におきましては、売上予測では、増収予測4回答、不変予測2回答、減収予測1回答で、増収と不変予測合わせて86%、利益予測では、増益予測3回答、不変予測2回答、減益予測2回答で、増益と不変予測合わせて71%となります。

消費物資産業分野11回答におきましては、2010年売上では、増収10回答、不変ゼロ回答、減収1回答、利益でも、増益10回答、不変ゼロ回答、減益1回答となり、増収、増益回答が91%です。2011年の展望では、売上予測で、

増収予測 10 回答、不変予測 1 回答、減収予測ゼロ回答で、増収と不変回答合わせて 100%、利益予測では、増益予測 6 回答、不変予測 3 回答、減益予測 2 回答で、増益と不変予測合わせると 82%となります。

最後に商社分野ですが、4 回答得られましたが、2010 年売上では、増収 2 回答、不変 2 回答、減収ゼロ回答で、増収と不変回答合わせて 100%、利益では、増益 2 回答、不変 1 回答、減益 1 回答で、増益と不変合わせて 75%でした。2011 年展望では、売上げに関しましては、全会員が増収予測、利益につきましては、増益 3 回答、不変 1 回答、減益ゼロ回答で、増益と不変合わせて 100% と言う結果です。

総括としまして、2010 年は、2009 年下期からのブラジル経済回復基調に乗り、また比較的安定なレアル高傾向がプラスに作用した分野が多く、さらには会員各社の企業努力により、素材産業分野、消費物資産業分野、商社分野、全般に亘り好調に推移した年であったと言えます。

2011 年につきましても、幾つかの不安要素はありますが、2010 年の好景気が継続、概ねレアル高で安定と思われ、素材産業分野、消費物資産業分野、商社分野、全般に亘り、良好な年になるであろうと予測されています。

次に、各分野からの回答を駆け足でご紹介致します。

B. 分野別 2010 年の回顧（対前年比）と 2011 年の展望（対前年比）

1. 写真・デジタルカメラ

①2010 年の回顧

増収、増益でした。プラス要因として、グループ会社統合効果、代理店買収による事業寄与、デジタルカメラ市場の拡大、レアル高効果が挙げられています。マイナス要因は、競争激化による販売価格のダウンです。

②2011 年の展望

増収、増益予測です。プラス要因として医療事業の伸張、デジタルカメラ市場拡大に伴う販売数量の増加、グループ会社統合によるシナジー効果が期待されています。マイナス要因として、競争激化による販売価格ダウン、インフレ、一律昇給の圧力、為替変動リスクによるコスト上昇の懸念が指摘されています。

2. 筆記具（2 社）

①2010 年の回顧

2 会員から回答を得ましたが、両社ともに増収、増益でした。プラス要因は、ブラジルの好景気による筆記具市場の拡大と所得向上に伴う教育投資の拡大です。マイナス要因は、特に指摘されていません。

②2011年の展望

2 会員とも、増収、増益予測です。プラス要因は、2010 年と同じです。マイナス要因として、欧州の財政不安による成長鈍化の影響が指摘されています。

3. 化粧品

①2010年の回顧

増収、増益でした。プラス要因は、税関スト、その他トラブルがなく、スムーズな通関が出来た事と、既存製品の育成策が順調に推移している事です。マイナス要因として、労働裁判が指摘されています。

②2011年の展望

増収、増益予測ですが、プラス要因は、WEB 販売の開始、マイナス要因は、為替変動、税関職員ストライキ、港湾労働者ストライキ等の外部要因への懸念があります。

4. 一般用医薬品（外用薬）

①2010年の回顧

増収、増益でした。プラス要因は、市場の拡大、販促活動の強化、マイナス要因は、薬事法規制の強化です。

②2011年の展望

増収、増益予測で、プラス要因は、市場の継続的成長、新製品の上市計画です。マイナス要因は、薬事法規制の一層の強化によるコストアップへの懸念です。

5. 家庭防疫薬

①2010年の回顧

増収、増益、プラス要因は、経済危機からの回復、顧客在庫の減少、新規顧客の開拓です。マイナス要因は、アルゼンチン経由輸入されている中国製ジェネリック品との競合を指摘されています。

②2011年の展望

売上、利益とも横ばいの予測です。プラス要因として、新規顧客の開拓、国内生産の増加、また環境要因として Dengue 熱の流行を挙げています。マイナス要因は、ジェネリック品との競合と在庫増加です。

6. 農薬原体販売（3社）

①2010年の回顧

3 会員より回答得ましたが、3 会員ともに、増収、増益でした。プラス要因は、経済危機からの回復、対象作物面積の増加、農業ビジネス環境の好調さに連動した農業融資の増加です。マイナス要因は、中国製違法製品との競合が指摘されています。

②2011年の展望

増収・増益予測 1 会員、減収・減益予測 1 会員、売上・利益とも横ばい予測が 1 会員です。プラス要因として、対象作物面積の増加、農業ビジネス環境の好調さ、販売品目の増加が挙げられています。マイナス要因としては、気象異変

による南部の作付面積の減少、主要製品の特許切れに伴うジェネリック製品の市場への参入の恐れ、中国製違法製品との競合を指摘されています。

7. 農薬製剤販売

①2010年の回顧

増収、減益で、プラス要因は、作物価格の高騰、農薬市場の拡大、予算比財務収益の増加です。マイナス要因は、人件費増加、新市場参入による代金回収リスクの増加、対前年比財務収益の減少を指摘されています。

②2011年の展望

増収、減益予測でプラス要因は、作物価格の高騰継続の見込みと新規市場の開拓並びに新製品上市です。マイナス要因は、人件費増加、為替レートへの懸念、新規市場参入による売上回収リスクの拡大、競争激化による収益圧縮です。

8. 肥料

①2010年の回顧

減収、増益でした。プラス要因としては、農産物生産の好調さによる需要回復、マイナス要因は、会社方針による不採算商品販売中止による売上の減少です。

②2011年の展望

売上増加、利益横ばいの予測です。プラス要因は、需要の安定、マイナス要因は、物価上昇、原材料価格の上昇です。

9. 種子（野菜・花）

①2010年の回顧

増収、増益でした。プラス要因は、主力商品玉葱種子の安定販売、新商材の販売増加、為替安定による利益確保です。マイナス要因は、東北伯向けメロン種子の販売が、欧州の経済低迷、リアル高により影響を受けた事と大手顧客デルモンテ社のブラジルからの事業撤退です。

②2011年の展望

増収、減益の予測です。プラス要因は、主力商品の安定生産、新規商材の上市、南部市場での販路再編効果によるシェアアップ、マイナス要因は、スタッフ増加による人件費増加、試験農場運営費用の増加、東北伯向けメロン種子の販売大幅ダウンです。

10. 飼料添加物（鶏用）

①2010年の回顧

増収、増益でした。プラス要因は、供給量の増加と販売価格の安定、マイナス要因は、特に指摘されていません。

②2011年の展望

増収、増益の予測で、プラス要因は、新規顧客の開拓と供給量の増加、マイナス要因は、飼料穀物価格の上昇です。

11. 接着剤

①2010年の回顧

増収、増益でした。プラス要因は、経済回復、工業製品減税策、レアル高による輸入原材料コストの低減を挙げています。マイナス要因は、レアル高による輸出減少、物流の遅れです。

②2011年の展望

増収、利益は横ばいの予測です。プラス要因は、好景気の継続、労働者党政権継続による政権の安定、レアル高を挙げています。マイナス要因は、レアル高による輸出の減少、物流の遅れです。

12. 樹脂用着色剤

①2010年の回顧

増収、増益でした。プラス要因は、景気回復による産業全般における需要の安定、レアル高による原材料費の安定、社内コスト削減です。マイナス要因としては、競合他社の低価格戦略と顧客よりの価格引下げ圧力、また顧客の購入計画の変更多発によるコストアップ、労働裁判が挙げられます。

②2011年の展望

増収、減益の予測です。プラス要因としては、政権の安定と内需の安定、新規プロジェクトへの取組み、社内組織改革による効率化です。マイナス要因は、為替動向への懸念、競合他社の低価格戦略と顧客よりの価格引下げ圧力、人件費のアップです。

13. 架橋ポリオレフィン発泡体

①2010年の回顧

増収、増益でした。プラス要因として、自動車等のブラジル市場の拡大、生産効率の改善、営業組織の拡充を挙げています。マイナス要因は、新規競合メーカーの参入、原料のコストアップです。

②2011年の展望

増収、増益予測です。プラス要因は、自動車生産台数の増加、内需の拡大、新規ビジネスの導入・拡大、マイナス要因は、原料コストと人件費のアップです。

14. ロジン、テレピン油（生松脂）

①2010年の回顧

生松脂からロジン、テレピン油を製造、販売されていますが、増収、減益でした。プラス要因は、販売単価の上昇、需要増加、マイナス要因としては、原料の値上がり、同業他社との競争激化を指摘しています。

②2011年の展望

売上横ばい、増益の予測です。プラス要因は、需要増加、採算性の改善、本社による競合他社の買収、マイナス要因は、レアル高による輸出不振、原材料価格の不安定さを指摘しています。

15. 商社（4社）

4 会員から回答を得ました。

①2010 年の回顧

2010 年売上では、増収 2 回答、不変 2 回答、利益では、増益 2 回答、不変 1 回答、減益 1 回答の結果でした。プラス要因は、ブラジル市場の拡大、石油化学品市況の堅調さ、農薬ビジネスの好調さ、自動車関連ビジネスの増加、農業資材関連ビジネスの増加を挙げています。マイナス要因としては、人件費の増加、リアル高を指摘しています。

②2011 年の展望

売上は、増収回答 4、利益につきましては、増益回答 3、不変回答 1 の予測です。プラス要因は、ブラジル市場の拡大、化学品輸入ビジネスの増加、既存ビジネスの伸張、自動車関連ビジネスの増加、農業資材関連ビジネスの増加、新規ビジネスの開拓が挙げられています。マイナス要因は、金利負担増加を指摘しています。

以上で、化学品部会からの報告を終わります。